

手縫いで作る インド刺しゅうリボンのお守り



デザイン／クローバー
できあがりサイズ／よこ約5cm× たて約8cm

<用具>

ぬい針「絆（きずな）」
※リボンの厚みに合わせてお選びください。



<https://clover.co.jp/seihin/kizuna.html>

68-053
ほつれストップ液
<https://clover.co.jp/products/68053>



22-743
仮止めクリップ <ミニ・10個入>
<https://clover.co.jp/products/22743>

36-666
カットワークはさみ 115
<https://clover.co.jp/products/36666>

方眼定規 <20cm>
目打

<材料>

5cm 幅のインド刺しゅうリボン
：18cm

手縫い糸
⇒リボンに合わせて目立たない色を
お選びください。

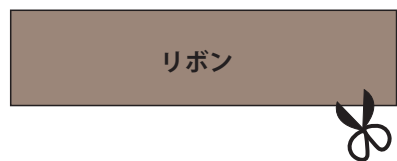
飾り紐（細めの結び紐）：60cm
※余分含む

セロハンテープ

お願い事を書いた紙
(3×5cm くらいのおおきさ)

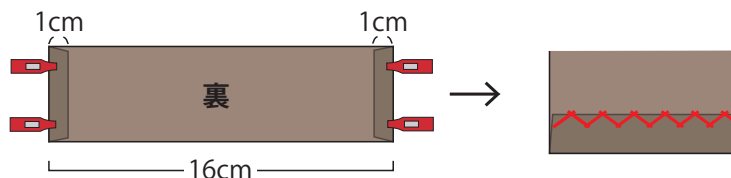
<作り方>

①インド刺しゅうリボンを 18cm にカットします。

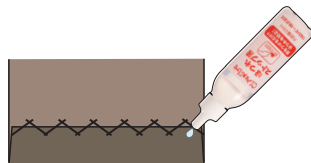


※スパンコールなどが付いているリボンを使用する場合は
はさみで切らないようご注意ください。
(スパンコールのない位置で 18cm にカットします。)

②両端 1cm を裏側に折って仮止めクリップで止め、千鳥掛けします。



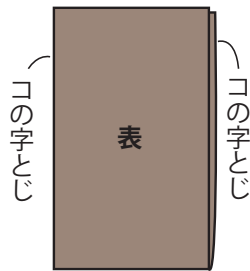
③ぬいしろ（リボンの端・刺しゅう糸が切れている部分）にほつれストップ液を塗り、乾かします。
※カットしたところからリボンや刺しゅうがほつれるのを防ぎます。



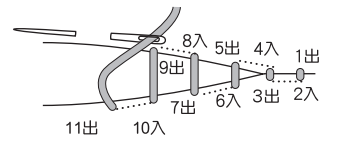
◀千鳥掛けの仕方を
動画でチェック！

<https://clover.co.jp/movie/tenuikiso09>


④外表にして半分にたたみ、両サイドをコの字とじします。



コの字とじ



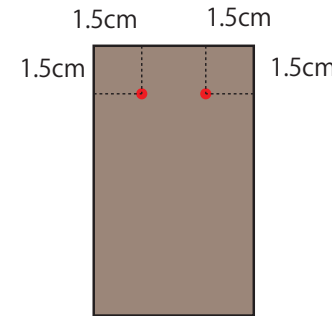
▼コの字とじの仕方を動画でチェック！



*布の内側から針を出して
左右を同じ針目で交互にすくいます

<https://clover.co.jp/movie/tenuikis10>

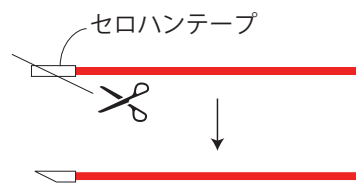
⑤図の●の位置に目打で穴を開け（反対側に貫通させる）、
お願いごとを書いた紙を入れます。



紐が通るよう、しっかり穴を開けます。

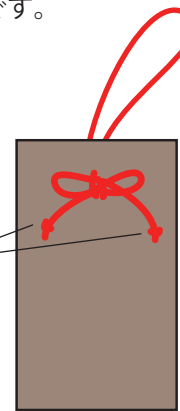
図の位置にスパンコールがある場合は各自穴あけ位置を調整してください。穴あけ位置に刺しゅうがある場合は刺しゅう糸をかき分けて生地のみ穴を開けてください。

⑥飾り紐を通して蝶結びにし、お好みの長さで切りそろえたら完成です。



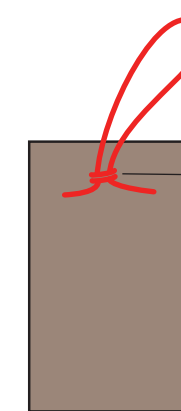
セロハンテープ

飾り紐の端にセロハンテープを巻き、ななめにカットして穴に通します。



ひと結び

ほどけないように、結び目の裏にボンドをつけておくと良い



ひと結び

表

裏

★多くのインド刺しゅうリボンは、両サイドを裏側に折って縫われた状態で販売されています。
透け感のあるリボンを使用する場合で、裏の縫い目が目立って気になる時は、3ページの作り方がおすすめです。

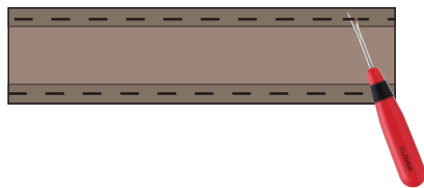


★裏の縫い目が透けて気になる場合の作り方

A. インド刺しゅうリボンを 18cm にカットします。



B. 裏の縫い目をリッパーでほどきます。
生地や刺しゅうを引っかけないようにご注意ください。



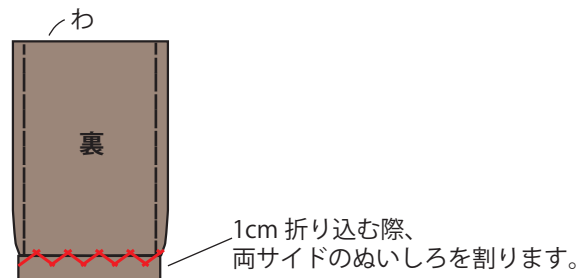
C. リボンを中表に折り、両サイドの出来上がりの折り目を本返し縫いします。
縫い終わったら、ぬいしろ幅を 0.5cm 程度に切りそろえます。



◀本返し縫いの仕方を
動画でチェック！

<https://clover.co.jp/movie/tenuikiso04>

D. 入れ口を 1cm 裏側に折って仮止めクリップで止め、1 周千鳥掛けします。



E. ぬいしろの刺しゅう部分にほつれストップ液を塗り、乾かします。

F. 入れ口から表に返し、角を目打で整えます。以降、2 ページの⑤～⑥と同様に穴を開け、飾り紐を通したら完成です。